ABメソッド

ヒアリング古典　百人一首　百人一首①

名前　〔　　〕

秋の田のかりほの庵の苫をあらみ
わが衣手は露に濡れつつ

天智天皇

春過ぎて夏来にけらし白妙の
衣ほすてふ天の香具山

持統天皇

あしびきの山鳥の尾のしだり尾の
ながながし夜をひとりかも寝む

柿本人麻呂

田子の浦にうち出でて見れば白妙の
富士の高嶺に雪は降りつつ

山部赤人

奥山に紅葉踏みわけ鳴く鹿の
声聞く時ぞ秋はかなしき

猿丸大夫

ＡＢメソッド

ヒアリング古典　百人一首　百人一首①

名前〔　　〕

かささぎの渡せる橋におく霜の
白きを見れば夜ぞふけにける

中納言家持

天の原ふりさけ見れば春日なる
三笠の山に出でし月かも

安倍仲麻呂

わが庵は都のたつみしかぞ住む
世をうぢ山と人はいふなり

喜撰法師

花の色はうつりにけりないたづらに
わが身世にふるながめせし間に

小野小町

これやこの行くも帰るも別れては
知るも知らぬも逢坂の関

蝉丸